

令和3年度

学校自己評価のまとめ

千曲市立戸倉上山田中学校

本年度の戸倉上山田中学校の学校自己評価を、生徒・教職員のアンケート(内部評価)と保護者アンケート(外部評価)をもとにまとめました。まとめをご覧の上、来年度も本校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

I 学校自己評価の目的

学校自己評価は、戸倉上山田中学校グランドデザイン(以下GD)に示された学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表し共有して『よりよい学校づくり』のために行うものです。

これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていかうとする意識や態度をもつことができます。

本年度の教育課題と重点

「日本一の学校」

生徒、先生、保護者・地域が互いに対話し、学び合い、高め合う学校 共に学ぶことが楽しい、明日も来々となる学校づくりを進めます

魂 充実した学校生活

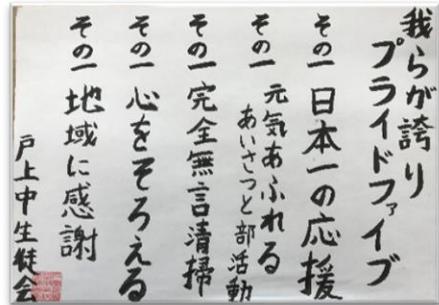
⇒「プライドファイブ」を生徒会とともに徹底し、安心・安全・信頼の学校生活を構築します

智 確かな学力

⇒協働的な授業で、生徒の「基礎的な知識・技能」「思考・判断・表現力」「主体的に問題解決していく力・人間力」を育みます

和 よりよい人間関係

⇒対話、連携を大切にして『多様性を認め合う人間関係』をつくり、生徒・先生・保護者・地域で学校づくりを進めます



II 学校自己評価の方法

1 アンケートによる調査

(1) 生徒の授業生活評価・教師の授業診断

全校生徒を対象に、授業及び学校生活についてのアンケートを行い、日頃の授業や生活について分析しました。また、教師の自己診断も実施し分析しました。

(2) 保護者アンケート

本年度の重点目標にかかわる内容についてアンケート用紙に回答してもらい、12月の保護者懇談会で回収しました。回収率は約61%(昨年度約65%)でした。

(3) 教職員による自己評価

本年度の重点目標にかかわる具体的な教育活動について、年度末に向けて自己評価を行いました。

2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、保護者アンケートの選択肢を【ア:十分 イ:だいたい ウ:あまり エ:全く オ:分からない】の5段階にしました(生徒、教職員アンケートは、分からないを抜かした4段階)。

昨年度と比較するために、ア・イを肯定的ととらえて、全体に占めるア・イの割合を肯定率(%)としてグラフ化しました。

Ⅲ 結果と考察

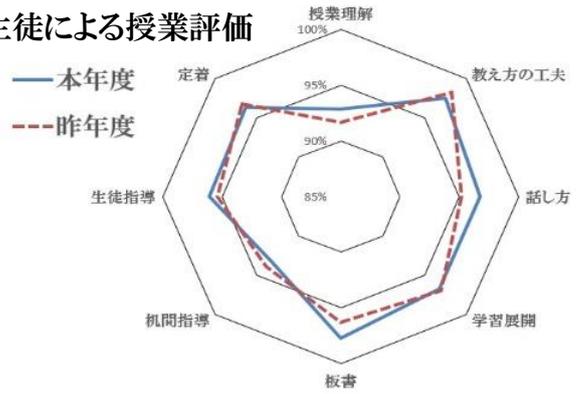
1 「確かな学力」について

A 授業について

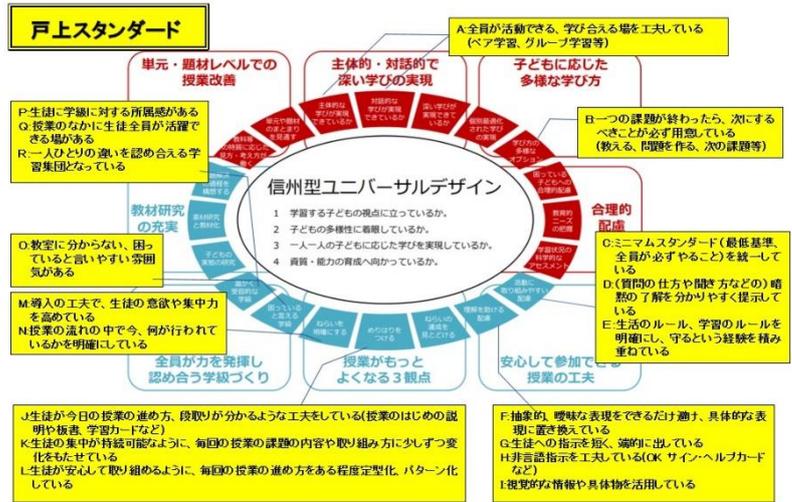
(1) 内部評価(生徒)

生徒を対象として授業に対するアンケートをとりました。内容は、①授業のわかりやすさ ②教材の工夫 ③授業中の話し方 ④学習展開の工夫 ⑤板書 ⑥机間個別指導 ⑦生徒指導 ⑧基礎力定着 について、生徒がそれぞれの立場から日常の授業評価をしました。

R3 生徒による授業評価

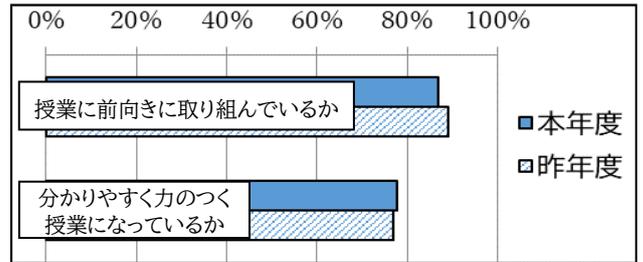


昨年度と同様に、全ての項目での肯定率が 90%を超えました。「③先生たちの話し方や質問のしかたは、はっきりしていて、何を聞いているのかわかりやすい。」「⑤先生たちが板書するとき、よく整理されていてわかりやすい。」という項目について昨年より向上してきています。これは、今年度授業改善の視点として、どの生徒も学びに向かい合えるように、すべての授業で先生が標準として行っていくユニバーサルデザイン(戸上スタンダード)を全職員で確認し、進めてきた成果とも考えられます。また、5月に3年生に実施された全国学力・学習状況調査では、国語・数学共に長野県と全国の平均点を上回る結果を得ることができました。一方で生徒からは「一人一人回ってわからないところを教えてほしい」「授業を進めるのが早いからもう少し遅くしてほしい」等の要望もあります。生徒の声に応えられるよう、今後も指導力の向上を目指していききたいと思います。



(2) 外部評価(保護者)

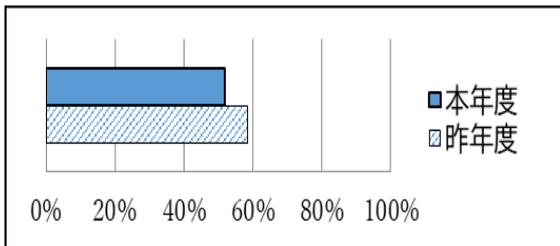
保護者の皆様からは、『授業に前向きに取り組んでいるか』について 88%(昨年度 89%)の方に、『力のつく授業になっているか』について 78%(昨年度 77%)の方に肯定的に見て頂いています。グループやペアでの学習形態を工夫し、コンピュータも活用しながら、今後も分かりやすく力のつく「協働的な授業」を目指していきます。



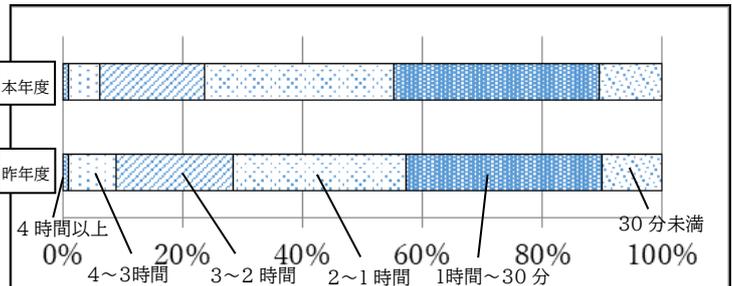
B 家庭学習について

お子さんの家庭学習を、『計画的に取り組んでいる』としている保護者の皆様は、昨年度の 59%から 52%に減少してしまいました。また、家庭学習時間の内訳でも、昨年度と比較し1~2時間の生徒が増えましたが、1時間以下の生徒が全体の44%を占めています。家庭学習の充実・自学自習の取り組みを目的としたつばさタイム・水曜 SP を含めて家庭学習の指導を見直す必要を感じています。生徒の自主的な学習姿勢を醸成して、家庭学習時間を充実することができるような手立てや家庭との連携策を引き続き考えていきます。

<家庭学習の取り組み>



<家庭学習時間>



2 「充実した学校生活」「よりよい人間関係」について

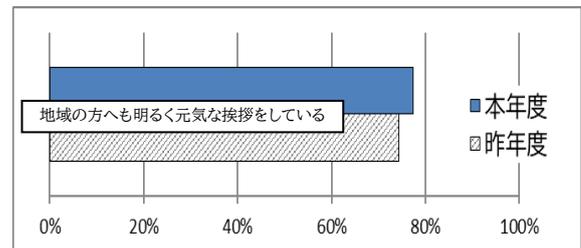
A 明るく元気な挨拶について

(1) 内部評価(生徒)

【学校に来るのが楽しい】【地域の方・先生方・友達・家族にすすんで気持ちの良いあいさつができた】【友達をからかったりばかにしたりすることなく、相手の立場や状況を考えた行動をとることができた】など14項目について、前期、後期の二回アンケートを行い、生徒の様子や状況を把握するよう努めています。とった結果を分析し、例えば『プライドファイブの意識』ができたとした生徒は95%で、昨年度より5ポイント上昇し、生徒会を中心に月目標や特別活動で生徒の意識を高めた成果だと考えています。やや意識の低いと感じられる項目については、生徒会活動と連動して改善するように取り組み、継続して指導していくなど対応しています。

(2) 外部評価(保護者)

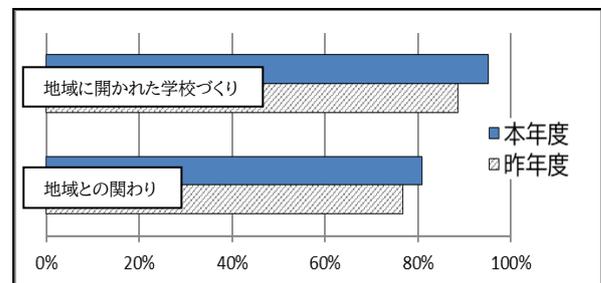
あいさつについては、94%の生徒が肯定的な回答をしていました。また保護者の皆様からも、「戸上中の生徒が朝の登校時にあいさつをしてくれたことがありとても気持ち良かったです」「道で会うと子どもの方から挨拶をしてくれ、素晴らしいと感じています」というご意見がある一方で、「参観日など校内で生徒に会った時、とても気持ち良い挨拶ができる子と出来ない子に分かれていると感じます」というご指摘もあります。生徒会活動でも、常に大切に考えられているのが挨拶です。挨拶の向上を目指し、意識を高めて改善していきたいです。



B 学校からの情報発信、地域との関わりについて

(1) 外部評価(保護者)

地域に開かれた学校づくりに関しては89%から95%に、地域との関わりについては76%から81%に大きく肯定的な評価となりました。今後もさらに地域との関わりを深め、各種通信等での情報発信を継続し、地域に開かれた学校づくりを目指していきたいと思ひます。



IV 保護者の皆様から

アンケートの中で、保護者の皆様から貴重なご意見や励ましの言葉をいただき、全職員で確認いたしました。保護者の皆様の貴重なご意見を大切に受け止め、これからの教育活動や学校運営に生かしていきたいと思ひます。以下にその一部を紹介します。

1 学習について

- 生徒がアウトプットできる場があると授業内容も頭に入るのかなと思ひます。4~5人位で習ったことを説明できるような時間があれば良いと思ひます。
 - 発言するのが苦手と感じている子どもでも意見を言いやすい雰囲気での授業をして頂けたらありがたいです。
- 今後も授業改善の視点としてのユニバーサルデザイン化(戸上スタンダード)に全職員で取り組み、生徒が活躍できる場を工夫しながら、一人一人を大切に授業に取り組めるよう努力していきます。

2 生活づくりについて

- 校舎はピカピカだし、気持ちの良い挨拶やチャイム前にすでに席についているなど、本当に戸上中はよい生徒が多いと思ひました。

○休日他の部活をしている生徒に、校内で会ってもあいさつしてほしいと思います。

おかげさまで生徒たちは本当に落ち着いた学校生活を送っています。生徒会を中心に、新しいこの校舎を大切に作る気持ちを更に育むとともに、気持ちのいい元気なあいさつの響く学校であり続けられるよう取り組んでいきます。

3 プライドファイブについて

○壮行会を直接体育館で観ることは出来なかったのですが、ケーブルテレビやオンラインで観られてとても感激しました。生徒全員が1つになってすばらしい日本一の応援を受け、息子の姿を見ることができて大変良かったです。TVで観ながら泣いてしまいました。素晴らしい応援をありがとうございました。

○完全無言清掃は長野特有で県外の方々からは珍しいと思われています。今社会ではコミュニケーションを重視しています。「ここをきれいにしよう」などの声掛けは大切だと思うし、「完全」にこだわらなくてもいいと思います。

プライドファイブは生徒会が掲げ、生徒たちの学校生活の誇りとなっている活動です。内容については、少しずつ見直しと改善を行いながら、生徒と共に取り組んでいきたいと思っています。

4 部活動について

○大会等で他校の保護者から「戸上の子は大きな声であいさつしてくれる」と声を掛けられました。とても嬉しい事だと思います。子ども達が自然とあいさつができるように育てて下さって感謝です。

○土日と部活動の参加では学習時間の確保が難しいです。土曜日 or 日曜日どちらかは休みにし、平日の学習内容の復習にあてられるように考えて頂きたいです。

部活動を通して生徒が成長する姿を教えていただけることは、私たち職員としても大変ありがたいことです。活動については、千曲市部活動指針・つばきクラブの規約等を確認して活動していきます。また、令和5年度から休日部活動の指導は、地域のクラブへと移行されていきます。

5 その他

○担任の先生にはいつも様子の違いに気づいていただき早急に解決していただいています。

○今のようなセーラー服、スカート、男子の学生服はやめた方がよいのではないかと思います。男女ともにスラックスやブレザーにした方がそういう子達も生活しやすいのではと強く感じています。

○紙ベースでのお便り、お知らせ等がとても多いですね。本校に限ったことではないと思うのですが、お知らせも注文も電子化して欲しいです。

○髪型の件ですが、先日もテレビで放送していましたが、何故ツブブロックがダメなのか…清潔感があり良いと思うのですが、時代とともに「これは」と思う校則は見直しが必要だと思います。

○自転車の乗り方についてきちんと指導して欲しいです。(特に部活動終了後の帰宅時)

・制服につきましては、コロナウイルス感染症の影響で会合をもつことができずにいましたが、少しずつ検討を始めています。まず、来年度は生徒の希望の大きいポロシャツを導入していきます。

・資源保護の観点からも、紙ベースから電子データへの移行を少しずつ進めていきます。現在、全生徒が毎日一人一台端末のクロームブックを持ち帰っている状況ですので、これらの活用も考えています。また、戸倉上山田中学校のホームページは大変充実しており、生徒、保護者の皆さんに多くの情報提供をしています。ぜひご覧ください。

・「髪は、中学生らしく整える。パーマ、脱色、染色、変形などをしない」と生徒手帳・学校の決まりに書かれています。これをもとに、ツブブロック他についても生活委員会で確認しながら指導してきました。今後も生活委員会を中心に生活のきまりについて確認をしながら、見直しを進めていきます。

・戸倉上山田中学校では、ご家庭からの申請があれば、全ての生徒に自転車での通学を認めています。生徒の命に関わる自転車の乗り方については、状況に応じてその都度、放送や全校集会で指導をしています。各ご家庭でもぜひご協力ください。(注意をお願いします)生徒たちが、安全にマナーを守って登下校できるように引き続き指導していきます。